



『広報いとう』『親和会ニュース』の各戸配布はなくなります

先月号でご案内のとおり、毎月定住会員のご家庭に配布している「広報いとう」および「親和会ニュース」の戸別配布方法を、今年6月を目処に各ゴミステーションに設置した『広報BOX』にてお取りいただくスタイル、“置き配”方式に変更します。各ゴミステーションの事情によりますが、正面又は側面に設置します。

これは、将来においても持続可能な自治会活動の一環としての取り組みであり、大室高原別荘地や近隣の分譲地、また伊東市街地ではコミセンや自治会館、ゴミステーションなどでの置き配方式が既に採用されています。

毎月最終週の火・水曜日に20部ほどを置き配します。万が一、既に置き配分がなくなっている場合には、お手数をおかけしますが事務所までお越し頂きますようお願いします。

先進的な市町村や分譲地では、紙媒体の広報誌を廃止し、ホームページやメールマガジンを活用したデジタル配信へ移行する例が増えています。親和会においては、デジタル化への慎重な意見も多いため、当面は紙媒体の広報誌を継続する予定です。

全国的な流れとして、広報誌をホームページに移行する近い将来に予想されますが、紙からデジタルへと変わっていく中で、少しばかり寂しさを感じるのは高齢者に仲間入りした証でしょうか。戸別配布は、ボランティアの方々の善意と努力によって今まで支えられてきました。これらの広報誌が皆様のご自宅に届くのは決して『当然のこと』ではなく、親和会役員や広報委員、配布ボランティアの献身的な協力があるの『特別なこと』なのです。



高齢化や資金の不足など様々な理由から、今までのような『特別なこと』を提供することが困難になり、今回の戸別配布の廃止もその一つです。

「会費を払っているのだから、会報誌を家まで届けろ」と仰る方もおられますが、親和会は助け合いと相互理解をもって成り立っています。

会員一人当たり約1,600円/月の会費のうち、約12円/月を広報誌の制作・配布に充てています。道路補修や側溝整備、ゴミの収集や防犯・防災など会員が享受できる『当然の権利』には限りがあることをご理解ください。

お願いします



穏やかに暮らす定住会員、また喧噪を離れ快適な環境を求めて来られる別荘会員が集う親和会です。静穏な環境を保つために、お互いが快適に過ごせるよう、どうか日々の生活の中で少しの配慮を心掛けていただければ幸いです。

③ あなたにとって快適な音も、周囲の方々にとっては騒音になる場合があります。また、民泊施設を運営される場合は、周辺環境に適った利用ルールやマナーの指導を徹底してください。

② 防犯カメラの設置は、適切な角度を守らないと近隣トラブルや法律違反の原因になります。マナーを守りましょう。

① 夜間は室内灯を適切にご利用し、カーテンを閉めるなどして周囲への光が漏れないようご配慮ください。別荘地では光トラブलに発展する恐れもあります。

【皆様へのお願い】

最近、静かな親和会エリアの環境が一部の住居による『光害』や『不適切な防犯カメラの設置』などにより損なわれているとの相談が寄せられます。民泊を運営されている家屋も増えており、治安や騒音問題などの懸念もごさいいます。



キャンディが結んでくれた

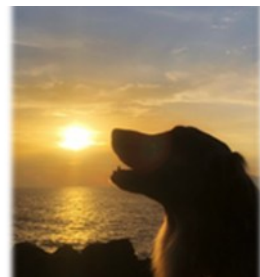
伊豆高原で綴る日々

第4地区 塩坂さん

東京から伊豆に移住して20年以上。こうやって文章を書く事が何年振りだろうか？ 自分自身を振り返りますね。

20代だった私。勤め人だった私。東京で駅近の喧騒地域に住み、夫婦2人+ワンで日々慌ただしい時を過ごしていたな。そんな日々の中、ふと気がつく、家族が自然に「伊豆に行こう！」と身体と心が、伊豆旅行を求めていました。3ヶ月に1度から1ヶ月に1度と、愛犬とのんびり散歩しながら、鳥達のさえずり流れる優しい空気が、朝の海を照らす太陽の道を交差する漁船、だれにも逢わないピクニカルコースなどの散歩道。南に1時間も走れば真っ白な砂浜に澄んだ青い海(下田)西に進めば、裾から見える大きな富士山。

いつからか「30年先かもだけど伊豆に住みたいな」と思っていた気がします。全てはいつかは……。子供のいない私達。宝と言え、愛犬ゴールデンレトリバーの「キャンディ」私達夫婦にとってかけがえのない愛犬であり愛娘のキャンディ。まさか自分達の人生がこの一頭のワンコで変わるとは思っていませんでした。忙しい日々のなか、キャンディも私達と同じ様に歳を重ねてました。ある日、



キャンディの首元にシコリ。診断は癌。余命宣告はわずか4ヶ月。夫婦二人で毎日涙が止まらない生活。大切なこの子の為に

自分達は何かしてあげたんだろうか？と。最後はキャンディの大好きな場所で過ごしたい。そう夫婦で話し合い、伊豆に移住を決断。まさかこんなに早く伊豆に移住するとは思っていませんでしたが、移住して正解。キャンディも毎日が笑顔。免疫力が上がったのか余命宣告から4年間一緒に私達と穏やかな日々を過ごす事ができました。

あれから20年、時にあのドタバタと移住して来た時を思い出しながら、大好きな伊豆を愛犬二頭と伊豆の自然に感謝を忘れないように「今を楽しんでいます」これからも仕事を通して伊豆の魅力を発信できたらと日々奮闘中です。



5月の 案内人会 ゆったりは富戸路

年に8回行われる伊東自然歴史案内人会の「ゆったり湯めまちウォーク」、この5月の案内は富戸路。江戸・明治期には富戸から池を通して大仁に抜ける重要な生活道路だった古道富戸路を四辻から富戸まで歩き、富戸港では伝統的漁業から定置網、ダイビング、養殖、観光漁業へと業態を広げる富戸定置網株式会社のお話を伺います。

開催は5月18日(日) 08:30城ヶ崎海岸駅集合、解散は15:00、参加費500円。歩行距離10km、標高差180mの健脚向きコース。事前申し込みは不要、ベテラン案内人の説明を聞きながら古道を歩き、歴史と自然に恵まれた伊豆高原ライフを楽しみましょう。お弁当も忘れずに。

雨天の場合は5月25日です。



Let's talk in English!

伊豆高原駅前のナガヤ向かいのお米屋さん2階にこの4月、ネイティブ講師の会話レッスンと日本人講師による文法を組み合わせた最大4人の少人数制英語塾が開講しました。

主宰するのは2年前に親和会第4地区に移住してらした渡辺真佐美さん、英語教育に長年携わったベテランです。

点数のためだけに学ぶのではなく、小学生からシニアまで、英語を「自分の夢につながる道具」として育てていくことを目指します。それぞれのニーズにあったテキストを用意、実践で使える英語を会話と文法の双方から学びます。



照会：アレセイア英語教室

電話：090-9644-6480 (渡辺)

☐ : a.school.izu@gmail.com

花と笑顔が紡ぐ物語

第1地区 和田千恵子さん

退職後の新たな暮らしの舞台として私たちが選んだのは、お庭の地形美と四季折々に彩られる大室山の見事な借景に包まれるこの地でした。伊豆高原には「オープンガーデン」に情熱を注ぐ方々が数多くおられます。ひとつひとつのお庭を訪ね歩きながら、「私もいつかオープンガーデンをしてみたい!」という夢を抱くように...



その日以来、雨と風に邪魔をされない日には、夫婦で仲良く朝から夕暮れまで、ずっとお庭作りに没頭しています。ほんとうに楽しくって時間を忘れてしまうことが悩みの種です。

バラやクレマチス、そして樹木と庭の工作物は夫の担当。私は草花のレイアウトや雑草取り、花がら摘みを担当します。お庭の隅々にまで愛情を注ぐこと、それが楽しくって嬉しくって仕方ありません。



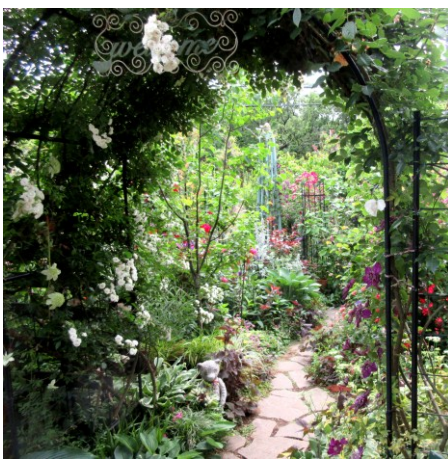
この8年間、バラとクレマチス、そして多種多様な草花が「てんこもり」に咲き誇る



個性豊かな魅力で溢れる庭を、皆さまに公開してきました。今年も『お花がっつなぐ笑顔と笑顔』というテーマのもと、笑顔で皆さまをお迎えいたします。

大室山の絶景を間近に眺めながら、心弾むひとときを過ごしていただけるカジュアル・ガーデンにて、皆さまのお越しをお待ちしております。

私たち夫婦が心を込めて育て上げた花々が、ひとつひとつの笑顔をつなぎ、幸せな時間を紡ぎ出しますように...



ようこそ Keyaki*Garden へ

【オープンガーデン開催期間】

5月1日～5月31日

10:00～15:00 (期間中無休)

右のQRコードから詳しい情報をご覧ください



火災予防にご協力を

近頃、野焼きや焚火が原因の山火事が全国で頻発しており、私たちの親和会エリアでも十分な注意が必要です。特に庭先に剪定した枝葉を放置していると、延焼の原因となる危険性があります。また、家屋の内部が整理整頓されていない場合、いざという時に火の手が広がりやすくなる恐れがあります。

広範囲に延焼が及ぶと、自然環境にも大きな損失をもたらします。わたしたち誰もができる範囲で、日頃から火の用心を心がけることが大切です。

火災は私たちの財産だけでなく、大切な自然環境にも大きな損失をもたらします。誰もができる範囲で火の用心を心がけることが大切です。次のポイントを参考に、地域全体で安全な環境づくりを目指しましょう。



□ 伸び放題の枝木や雑草はこまめに整えましょう。刈取り後は放置せず適切に処分してください。

□ 庭での雑草処理に草焼バーナーの使用は避けましょう。山火事の原因となる恐れがあります。

□ 屋内の不要な物品を整理しましょう。特に暖房器の周りにはゴミやカーテンなど燃えやすいものを置かないよう細心の注意を

「火の用心」を合言葉に、安心して過ごせる環境づくりに努めましょう。

春の交通安全キャンペーンを実施

4月9日 春の交通安全運動の一環として、親和会は街頭キャンペーンを実施しました。



国道135号線から桜並木に通じる三叉路(クリエイトの上)にて、交通安全と桜並木の制限速度30km/hの厳守を道行く車に呼びかけました。役員8名と環境ボランティア会5名が参加、八幡野交番の警察官と共に桜が舞い散る陽光のもと、旗とプラカードで注意を促しました。



ご存知ですか、伊東市健康づくり推進員(旧保健委員)

保険委員は、今年度から「伊東市健康づくり推進員」と名称もかわり、地域住民の健康維持・向上を目的に活動のしています。健康相談会や予防接種の啓発活動などを通じ、様々な情報をお知らせしています。また、定期的な研修に参加し、最新の知識を身につけることで、より充実した支援を提供しています。



地域貢献に関心のある方、健康に興味がある方はぜひ保健委員にご応募ください。未経験でも研修を通じてしっかりと学べる環境があります。一緒に、住みよい地域づくりに取り組みましょう！



市の健康診断・検診などのポスターを掲示し、みなさんが健康になるきっかけをつくります。またAEDや三角巾の講習を経て、災害時や救急救命のファーストエイドに努めます。最近では、防災食・発災時のトイレの備え・恩恵・歯科口座など、主体的に学びたいテーマを決めて活動しています。

お問い合わせや詳細は、親和会事務所または伊東市健康推進課(0557-52-3051)まで。

各サークル日程 及び 夢プロ主催イベント日程は、親和会公式掲示板のイベント・カレンダーでご確認ください



親和会公式HP

親和会ゴルフ同好会 於：伊東CC
5月15日(木) 9:25 集合
問合せは平松(53-1615)

夢クック「料理教室」
5月27日(火) 8:50 / 12:50
問合せは西貝(090-6176-1849)

歌う会「夢の和」
5月24日(土) 10:00
問合せは関村(090-5458-6349)

輪番の班長は掃除当番ではありません 5月のゴミ出し日 ゴミステーションはルールを守って

可燃ゴミ	ビン	カン	金属類	古紙 段ボール	われもの 乾電池	ペットボトル
月・水・金・日		1 (木)	1 (木)		1 (木)	6 (火)
	8 (木)	8 (木)		13 (火)		13 (火)
	15 (木)	22 (木)	22 (木)			20 (火)
	29 (木)	29 (木)		27 (火)		